

# マテリアルフロー



当社の2024年度のマテリアルフローを報告します。事業活動を通じて価値を社会に提供するために、以下のような資源を投入しました。その上で、発生する環境負荷を低減すべく、目標値を設定して活動を行っています（KPI）。なお、前田建設の建設工事でのスコープ1排出量は、日建連の集計方法に従い、協力業者の燃料によるCO<sub>2</sub>排出量、建設発生土・副産物の運搬によるCO<sub>2</sub>排出量を含んで算定しています。

## 投入資源

エネルギー

施工※1 月平均の稼働作業所数：325 延べ労働人員：3,310千人			
電力量	55,307 千kWh	LPG	57 t
※電力量は全てRE100と非化石証書購入		都市ガス	33,039 m <sup>3</sup>
A重油	0 kl	軽油	24,273 kl
		灯油	291 kl
		ガソリン	300 kl
		上水使用量	411,912 m <sup>3</sup>
オフィス活動※2 拠点：39カ所 延べ労働人員：537千人			
電力量	5,142 千kWh	ガソリン	206 kl
※電力量は全て非化石証書購入		軽油	4 kl
		都市ガス	44,589 m <sup>3</sup>
		上水使用量	18,155 m <sup>3</sup>

資機材

施工			
コンクリート	609 千m <sup>3</sup>	鋼材	112 千t
セメント	42 千t		
★グリーン調達量 ●材料系12品目 ●外装材・内装材系 7品目 ●設備系 11品目			
※詳細は下の「グリーン調達量一覧」参照			
オフィス			
用紙購入量	6,872千枚		

## グリーン調達量一覧

高炉コンクリート	147,476 m <sup>3</sup>	Low-Eガラス	48,921 m <sup>2</sup>	自動制御ブラインド	0 カ所
フライアッシュコンクリート	0 m <sup>3</sup>	複層ガラス	3,183 m <sup>2</sup>	地中熱利用システム (ヒートポンプ)	0 kW
再生コンクリート	5,397 m <sup>3</sup>	屋上緑化	81 m <sup>2</sup>	太陽光発電	6 kW
電炉H鋼、鋼矢板	767 t	壁面緑化	0 m <sup>2</sup>	太陽熱利用	0 m <sup>2</sup>
電炉鉄筋	75,604 t	再生木質ボード (パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)	69,322 m <sup>2</sup>	風力発電	0 kW
建設発生土の再利用	96,238 m <sup>3</sup>	国産木材仕上材	0 m <sup>3</sup>	燃料電池	0 kW
建設汚泥から再生した処理土	37,915 m <sup>3</sup>	ノンフロン断熱材	648,719 m <sup>2</sup>	LED照明	12,815 台
再生骨材等	128,479 t			EM電線	40,395 m
再生加熱アスファルト混合物	14,057 t			節水便器	7 組
代替型枠	31,407 m <sup>2</sup>			吸収冷温水器	0 台
PC材	51,801 m <sup>2</sup>			ガスヒートポンプ	0 台
EPO認証製品	878 百万円				

スコープ3  
エネルギー関連活動  
13,424 t-CO<sub>2</sub>

雇用者の通勤  
1,715 t-CO<sub>2</sub>

スコープ3  
購入した製品・サービス  
888,976 t-CO<sub>2</sub>

輸送、配送 (上流)  
4,904 t-CO<sub>2</sub>

INPUT

INPUT

## 事業活動※3

### 社会に創出された価値

土木	道路	488 億円
	治山・治水	13 億円
	鉄道	223 億円
	上下水道	79 億円
	土地造成	60 億円
	港湾・空港	12 億円
	ダム・水力発電	168 億円
	その他	441 億円
建築	住宅	999 億円
	教育・医療等	536 億円
	工場・倉庫等	749 億円
	事務所・庁舎	277 億円
	商業・宿泊等	226 億円
	その他	662 億円

スコープ3  
販売した製品の使用  
910,519 t-CO<sub>2</sub>

販売した製品の廃棄  
31,159 t-CO<sub>2</sub>

OUTPUT

OUTPUT

## 環境負荷※4

温質効果ガス・大気汚染

施工	
CO <sub>2</sub> 排出量	77,986 t-CO <sub>2</sub>
(廃棄物・運搬土輸送起因)	12,738 t-CO <sub>2</sub>
(電力使用分)	0 t-CO <sub>2</sub>
Nox	425 t
Sox	63 t
オフィス	
CO <sub>2</sub> 排出量	580 t-CO <sub>2</sub>
(電力使用分)	0 t-CO <sub>2</sub>
CO <sub>2</sub> 排出量合計	78,106 t-CO <sub>2</sub>

建設副産物

建設廃棄物	761,368 t
(特別管理産業廃棄物)	1,686 t
建設発生土	1,016 千m <sup>3</sup>
マニフェスト発行枚数	136,029 枚
オフィス	
一般廃棄物	88 t
廃棄物合計	761,456 t
排水量※5	553,085 m <sup>3</sup>

## 再資源化した建設副産物

コンクリート	219,650 t
アスファルト	26,422 t
コンクリート	32,143 t
建設汚泥	326,877 t

リサイクル率 (解体含む) 89.7 %  
リサイクル率 (解体除く) 95.6 %

社会で再生

再資源化

スコープ3  
副産物の運搬  
13,748 t-CO<sub>2</sub>

最終処分

廃棄物最終処分量	76,708 t
最終処分量原単位	15.3 t/億円

※1：エネルギー量はサンプリング調査をもとに算出しました。  
 ※2：本店、支店社屋等の集計です。  
 ※3：2023年度の完成工事を集計しました。  
 ※4：2023年度工事（完成工事+継続工事）の数量集計です。  
 ※5：下水道への排水のみとしています。